

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和高田				公表日	2026年3月日		
						利用児童数	54	回収数	15
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1		人員確保に努めます。	・広くはないが限られたスペースで子どもが十分に遊べていると思う。 ・十分なスペース。	感覚統合で3人利用となると少し狭さを感じられる事もあるかと思いますが、その都度環境設定の配慮を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	3			・適切な配置。	今後も一対一の個別支援の提供を行い、お子様が色々な活動に挑戦できる支援を行います。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			・本人にわかりやすい、動きやすい空間。	遊具は種類別に分類し、お子様が認識しやすい環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				広々とした環境。	毎日掃除を行い、今後も事業所を清潔に保てるよう努めます。	
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			・子どもに応じた、子どもが自ら積極的に動ける支援。 ・職員の入れ替わりが早い。専門性のある先生とそうでない先生との差が激しい。	保護者様やお子様のニーズや課題を分析し計画の立案を行っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・適切な支援が受けられていると思う。	お子さまが色々な活動に挑戦できる支援を引き続き行います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・その子どもに応じた内容の支援・説明。	保護者様やお子様のニーズや課題を分析し計画の立案を行っています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1			・適切な支援。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・適切な支援。	引き続き、放課後等デイサービスガイドラインの示す支援内容を具体的に示していきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		1	・毎度担当先生が代わり色々な視点からのアプローチがあって飽きや偏りがなく子どもも楽しく活動していると思う。 ・子どもに合わせた支援。	引き続き、放課後等デイサービスガイドラインの示す支援内容を具体的に示していきます。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1	2	7	5				
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・適切な説明。	今後も要点を押え、解りやすくご説明できるように努めます。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・適切な説明。	今後も要点を押え、解りやすくご説明できるように努めます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	4	1	5		いつでも気軽に相談して頂ければと思います。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	14	1			・子どもの状況を伝え合っていると思う。	気になる事等、情報共有を今後も徹底できればと思います。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				・困った事や悩みがある時すぐに説明でき一緒に考え、活動に繋げてもらえる為助かっている。 ・子どものことを理解したうえで、日々の様々な悩みを聞いてくださり助かっています。	いつでも気軽に相談して頂ければと思います。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				・毎回そう思う。	ありがとうございます。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	5	2	6	・一人っ子です。	保護者会は実施できるよう計画・検討を進めて行けたらと思います。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	1		6	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		1	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		8	・避難経路やハザードマップ。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13			2	事故が起こらないよう安全管理に努め、万が一の際には、速やかに対応出来るよう努めます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	1		1	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				今後もお子さま一人ひとりに寄り添った支援が提供できるよう努めます。職員の知識向上に邁進し、お子様と保護者様が安心して利用していただけるよう精進します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		リハビリ発達支援ルームUTキッズ大和高田				公表日	2026年 3月 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	定期的に備品整理に努めています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	3		人員確保に努めます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		玄関・トイレ等バリアフリー化しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		日ごろより清潔に保つよう努めています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		お子様の状況により、保護者室・相談室を利用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2	2	事業所目線で前期・中期・後期で振り返りを行っています。時間を見つけて話し合いを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		アンケート調査結果を受けて改善を行います。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		全体を通しての話し合いの時間が少なく為、個々での話になっています。	少しでも全職員が揃う日を作り、話し合い出来る時間の確保を行いたいと思います。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	第三者評価は行われていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		研修は共有されています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		5領域プログラムの公表はされています。	全職員が5領域の経緯プログラムを把握できるよう共有していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		お子様に対して、保護者様からの聞き取りを行い、お子様のニーズに沿った支援計画書を作成しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		計画書を作成する中で、気になる事がある場合は、職員間での意見の出し合い目標・課題の情報共有を行っています。話し合いに時間が更につれるようにしたいです。	モニタリングアンケート・療育内容を基に計画書作成を行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		パソコンやファイルからいつでも確認できるようになっています。計画書を書くに、計画に沿った支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1	インフォーマルなアセスメントは行っています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	1	お子様のニーズに合わせて活動内容の立案を行っています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		職員間で活動内容を共有しています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		毎回ではなく可能な範囲で行っています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		日々記録を通して、次の支援にも活かせるよう努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		聞き取りシートを使用し見直しています。半年に一度モニタリング用紙をお渡しし、保護者様に現状を記入して頂いています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4		計画書に記載した内容に沿って支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4		療育時間内での活動内容設定等に取り組んでもらう事があります。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		現在、管理者のみ参加しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	必要に応じて連携を取ります。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2	2	保護者様から共有をお願いしたり、事業所見学対応も行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2	必要な場合は、保護者様を通じて行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	該当者なし。 必要に応じて行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	3	外部の助言を受ける機会がないです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	交流する機会はないです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	2	管理者のみ参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		来所持・フィードバックの際、共通理解できるようにしています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3	Instagramにて掲載しています。
関	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		契約時説明するようにしています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		モニタリング用紙にて聞き取りを行い、計画書作成をしています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		こちらからの声掛けでの実施もあります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	3	きょうだい同士での交流会は難しい状態です。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		話をしっかりと聞き、相談後に職員間で共有しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		Instagramにて定期的に発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		鍵のかかる場所で保管しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		ラミネートを作成し、視覚的に提示しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		マニュアルで自身の役割を確認し、訓練に参加。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		計画をたて、訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		契約時・利用登録書を書くにし、把握するようにしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	指示書の提示は行っていませんが、おやつ提供時、保護者様に細かく確認し、声掛けを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		計画をたて、訓練を実施しています。	必要に応じて保護者様に確認しています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		避難経路を保護者室に提示しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		ヒヤリハットが起こった時に協議を行い、再発防止に努めています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1	研修を行っています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3	1	契約時に説明するようにしています。		